

福山市老人大学

第54期入学式 式辞

春爛漫の本日、枝広福山市長のご出席、熊谷市議会議長、古谷市老連会長、高橋元老大学長を始めとするご来賓、講師の先生方のご臨席を賜り、大勢の老大学生の出席をいただき、福山市老人大学第54期入学式が挙行できますこと、大変有難く嬉しく存じます。

今年度の入学学生数は1,521人、内、新規学生は221人です。男女比は、男性468人、30.8%、女性1,053人69.2%。平均年齢は76.1歳、90歳以上の方は35人、最高齢は男性94歳、女性97歳の方になります。複数教科受講者は190人で、延べ受講者は1,711人、昨年より73人の増となっています。

コロナ禍で1400人台まで落ち込んでいた学生数が、少しずつでも回復してきているということに安堵しているところです。

受講における特徴的な事では、今年度もスマホは216人の定員がほぼ満席になっています。併せて、スマホ以外にも満席になっているクラスが13と多く、次年度に向けて、教科・クラス編成のあり方を検討することが必要と考えています。

また今期は、短期講座として、「古典文学入門」、「デッサン」、「バラづくり」、「ボランティア育成」、さらに2年後の移転も視野に入れて、特別講座としてヨガと油彩画を計画しています。新学期がスタートしたらそれぞれ受講申し込みを受け付けますので、その際にはたくさんの方の申し込みを期待しています。

さて学生の皆さん、御存知のように、昨年度第53期は老大創立50周年の節目の年でした。来賓の皆様、講師の先生、大勢の学生が参加して開催した記念式典では、50年に及ぶ老大の歩みを振り返るとともに、これまで老大を支えて下さった方々に感謝しながら、盛大にお祝いをする事が出来ました。

また本年1月には、この間のことを「福山市老人大学 50年の歩み」として冊子にまとめ、広く関係者の皆様にお配りしたところです。

さらに、50周年の老大は地元の新聞やテレビ等で現在の様子と共に、その意義・役割などについて何度も取り上げて下さり、老大は改めて全国的にも注

目される高齢者の生涯学習施設になりました。そして今、私たちは老大の新たな歴史を刻む出発点に立っています。

さて学生の皆さん、第54期、創立51年目を迎えた福山市老人大学へのご入学、誠におめでとうございます。みなさんはこれから1年間、週に1回、英会話や古典文学、折り紙、太極拳、イキイキ体操、ポップス、スマホなどなど、ご自身が希望した教科を学ぶことになります。講師の先生の手ほどきを受けながら、少しずつ上達して、ワクワク意欲がわいてきます。学級にはお友達ができます。挨拶をしておしゃべりをするとウキウキ心が弾んできます。老大に来ることがどんどん楽しくなって、学習の日が待ち遠しくなります。そして、気が付いてみたら、老大に自分の居場所が出来て、いつの間にかとても元気になっていました。どうでしょうか、私はこのような皆さんの笑顔が、今年も、いっぱい増えることを心から望んでいます。

一方で、みなさんは、単なる受講生や、ましてやお客様ではありません。福山市・市老連・講師の先生・先輩の学生方が尽力され、発展させてきた老人大学の学生であり、その伝統を引き継ぐ主役の一人ひとりです。

進んで学習に取り組み、学級の運営に携わりましょう。学習の場としての校内秩序と環境を守りましょう。共に学ぶ者同士の友情を育み、その輪を広げましょう。学生会活動やクラブ活動、ボランティア活動などに頑張って取り組みましょう。

さまざまに注目して頂いている老人大学、そこに集う私達の日々の様子や立ち居振る舞いは、ご近所の方や市民の皆さんから関心を持ってみられています。今後とも、温かく見守って頂けるような大学にしましょう。何より、皆さんご自身が老大に集い学んでいることに誇りが持てる、そんな老大を築いていきましょう。

さあ、老人大学を大切にしてくださる皆さん、今期も思い切り老大生活を楽しみましょう。御承知のように、現在学んでいる地吹校舎はあと2年。その後は新しい施設で新たなスタートを切ることになっています。私たちの手で歴史を刻み、力強く次の世代にバトンをつないでいきましょう、と決意を申しあげ、式辞といたします。

2024年（令和6年）4月3日 福山市老人大学 学長 飛田洋悟